



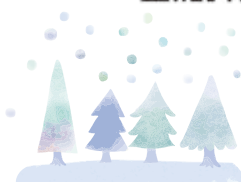
全管協ニュース

発行所 一般社団法人 全国管洗浄協会

〒105-0004 東京都港区新橋 5-10-6 川村ビル7階 TEL 03 (6432) 4530 FAX 03 (6432) 4531

<https://www.zenkankyo.jp> E-mail: info@zenkankyo.jp

発行人 上之原 靖



委員定数見直しで協議 第2回常務理事会

2024年度第2回常務理事会を10月8日午後3時より、当協会事務局で開催しました。各支部から参加する委員について、委員会規約で定める委員定数を超過する可能性があることから、定数変更のため同規約の改定について協議しました。

冒頭、上之原靖理事長を議長に選任後、①日本管更生工業会の協力要請に対する対応②厚生労働省「団体等検定制度」の取り組み状況③委員定数などについて協議しました。

委員定数については、会員数の増加に伴い各支部からの委員会活動への参加が増えていることや、特定の委員会への参加要望が集中しつつあります。委員会規約では、委員定数は「各委員会とも5名以上15名以内」となっていますが、現状では15名以上になる委員会もあるため、定数見直しについて協議しました。最終的に上限(15名)引き上げについて検討することを了承しました。

厚生労働省「団体等検定制度」の申請に向けた取り組み状況は、事前相談後に受け取った「初期相談シート」について、担当委員会を決めて記入を進めています。同シートは、「団体等検定」を申請する理由や技能の概要、従事者規模、財政基盤などについて回答する内容

になっています。これらの記載内容について協議し、確認しました。

日本管更生工業会からの技能実習制度の対象職種追加への協力要請については、第1回常務理事会(2024年7月25日開催)で協議事項として上がり、継続協議を行っています。

外国人労働者の雇用形態には、「技能実習制度」と「特定技能制度」があり、その目的や対象職種、在留期間もそれぞれ異なります。また、産業分類についても、排水管清掃業はビルメンテナンス業(日本標準産業分類9229「その他の建物等維持管理業」)に分類されますが、排水管の取り換えや改修工事といった派生業務として発生する排水設備工事については、建設業(同0833「給排水・衛生設備工事業」)に分類されます。そのため、当協会としてどちらの職種・制度を選択するのか、改めて比較検討を行いました。

その結果、事前に同工業会の要望について詳細内容を確認した上で、年内の協議開催に向けて調整することを承認しました。

このほか、各委員会からの活動報告、「全管協ニュース」に同封する広告チラシなどについて事務局より報告がありました。

第52回建築物環境衛生管理全国大会

1月23日(木)・24日(金)に開催

(公財)日本建築衛生管理教育センター主催(当協会後援)の第52回「建築物環境衛生管理全国大会」は1月23・24日の両日、東京・千代田区の日本教育会館一ツ橋ホールで開催されます。

同大会は、研究集会と特別講演、シンポジウム、記念式典で構成されています。このうち、両日に行われる研究集会では当協会も発表を行います(発表日は初日の予定。詳細は次号で紹介)。



前回の研究集会の様子

建築物排水管清掃技士資格講習

大阪・福岡で開催

当協会は10月3・4日に東大阪人材開発センター(大阪府東大阪市)、10月24・25日にポリテクセンター福岡(福岡県北九州市)で、2024年度第2・3回目の建築物排水管清掃技士資格講習を実施しました。

両会場とも、1日目のガイダンス後に理解度テスト(40分)を実施。その後、「室内枝管高圧洗浄」「共用管高圧洗浄」「ワイヤ清掃」「内視鏡調査」の4課題について、4班に分かれて、指導員の実演と説明を聞いた上で課題別の実技講習を受講しました。同講習は、日常業務に生かせるような内容を盛り込み、受講生にとって充実したものとなりました。

両会場では技術・機器展示会を併設し、アサダ(株)、カンツール、(株)シンショー、日本エマソン(株)プロフェッショナルツール事業部、(株)マルナカ、レッキス工業(株)の6社(五十音順)、またORDEM(株)(大阪会場のみ)も出展しました。

9月10日と10月9日には、建築物排水管清掃技士資格の有効期限



を更新するための再講習がオンライン形式で開催されました。

大阪会場の様子



**手持ち作業で
シンク周りの
養生時間短縮!!**



コードNo. TH2810 宅内排水管をスピーディーに検査

クリアスコープ2810

回転式ドラム採用



対角150°の
広角度カメラ



適応管径 : φ40~100mm / カメラヘッド : φ28mm / ケーブル長 : 10m
広角度カメラ : 対角150° 質量 : 2.0kg

アサダ株式会社

本社 / 名古屋市北区上飯田西町3-60 TEL (052) 911-7165
支店 / 東京・名古屋・大阪 営業所 / 札幌・仙台・さいたま・横浜・広島・福岡
http://www.asada.co.jp E-mail: sales@asada.co.jp

委員会・支部活動

支部活性化委員会

2024年度第2回会合を10月8日午後1時より、事務局とWebのハイブリッド形式で開催し、①日本管更生工業会からの要望への対応②各支部活動報告③従事者研修について協議しました。

日本管更生工業会から要望があった技能実習制度に関する陳情活動の協力要請については、同工業会の要望内容を聞いてから協議を進めることを決定しました。

各支部活動については、支部幹事会の内容や現在までの活動状況、今後の支部活動スケジュールなどが報告されました。また、来年度の役員改選に伴う各支部の理事割当数を確認しました。

総務委員会

2024年度第3回会合を10月21日午後3時より、事務局とWebのハイブリッド形式で開催し、①「団体等検定制度」の手続き②委員会規約の一部改正③アイデア募集企画に伴う表彰規程の改正④会計規程の確認と2025年度予算案について⑤展示会の出展内容について協議しました。

「技士資格制度」の「団体等検定制度」に移行する取り組みについては、厚生労働省に提出した「初回相談シート」への再質問があったことから、初回回答した担当委員会からの回答を待って再提出することを確認。また

排水管
洗浄にも

HOT ジェッター

高圧温水洗浄車 3段切換式スロットルエコシステム搭載

PJQHシリーズ

スイッチ1つで冷水・温水を切替



油汚れ
&
油のつまり
に
高圧温水

実用新案 第3212699号

コンパクトなのに多収納
いろいろな現場、用途に

エコ
ジェッター

♥♥

高圧洗浄機一品質とアフターサービス

SS 株式会社シンショー

本社 広島市西区商工センター4丁目10-16
電話 082-278-0072 http://www.ss-shinsho.co.jp/

検定実施の場合には特別会計報告が求められていることを確認し、同会計規程の作成が求められることを了承しました。

委員会規程については、第2回常務理事会での協議内容を踏まえ、定員定数(第2条2項)の見直しを協議し、上限を15名から25名以内、副委員長定数(第4条)も1名から3名に修正することを了承しました。

このほか、広報委員会が企画・検討している「排水管清掃のアイデア募集(仮称)」で副賞(賞金=総額50万円未満に決定)を検討していることから、表彰規程について協議し、現状の表彰規程を改正することとし、文言等について継続協議することを決めました。

支部活動

◆ 幹事会で支部体制など協議

近畿支部

当協会近畿支部(橋本倍幸支部長)は9月20日午後3時より、2024年度第2回幹事会を開催し、2025年度以降の新支部体制と大阪会場分の従事者研修・資格講習への対応について協議しました。

今期での退任要望(4人)とそれに伴う新任役員候補者について協議し、承認しました(一部継続検討)。また、従事者研修への講師派遣について、該当者の確保が難しいため、年2回から1回への実施回数の変更案を理事会に提出し、判断をゆだねることにしました。

研修等の開催は次のとおり。

▼東京支部=石川県金沢市で伝統と文化を学ぶ視察研修(石川県金沢市)／9月18～19日／参加者7人

▼南関東支部=パイプ探査ロボット「配管くん」(株)弘栄ドリームワークス開発製品)見学会(株)マルシンビルサービス)／10月17日／参加者17人



東京支部(研修会)



南関東支部(見学会)

働き方改革・効率UP

事務作業大幅に軽減

作業員管理 日程変更 印とり 写真 報告書

排水管清掃作業全て自動化

特許取得済み

特許第 7018677号

IT補助金対象

3ライセンス料込
月/～80,000

3ヶ月間お試し
無料

10社限定

導入のご相談はこちら
048-712-0010

本社 〒336-0923
埼玉県さいたま市緑区大間木 3-5-12
<https://ordem.co.jp/site/about-us/>
ORDEM



竹之内 英 さん
(44歳)

フジクス株式会社 代表取締役
総務委員

座右の銘▶ 凡事徹底

仕事へのこだわり▶ 最高のサービスを素早く、
質高く提供する

趣味▶ アルペンスキー、読書

フジクス(株)は、1969年に私の祖父がウォータージェット施工会社として創業しました。その後、1972年にマンションの排水管洗浄事業に参入し、管洗浄技術を応用したリフォーム事業、衛生分野への参入、太陽光パネル洗浄事業など、時代のニーズに合わせた技術開発・事業化に取り組んでいます。最近では、今年7月に札幌事業所(北海道札幌市)を開設し、体制強化を図りました。

現在、同社の業務はビルメンテナンス関連が5～6割、洗浄から派生する改修や営繕が2割弱、ほかに工場や道路関連事業、3年前からは食品分析も始めました。ビルメンテナンス関連業務のうち洗浄関連は6割程度となっています。

「家業を継ぐことは考えていませんでした」

私は、2003年に産業機械メーカーに入社した後、2009年にフジクスに入社。2018年に6代目の代表取締役に就任しました。

私の学生時代は、ちょうどITバブルの頃であり、1997年に京都議定書が採択されたことから“環境”がキーワードに上がり始めた時期でもありました。私自身も環境改善につながる仕事がしたいと思っていましたが、家業を継ぐという選択肢はまったくありませんでした。

最初に入社した会社では、営業として国内・海外と

もに担当しており、特にアジアを中心に日本企業の海外進出が増えていたタイミングだったことから、海外の業務が増え、非常に仕事は楽しかったです。

2008年に入り、4代目社長だった実父との会話の中で家業を継ぐことに対する考え方について聞かれることが多くなり、私自身も今後の人生設計を考えるようになりました。父は、「私が入社するかどうかで、人事を含めた組織体制が変わる」と考えていたので、悩みながらも最終的には継ぐことを決意し、2009年に入社しました。

入社後は、現場に出て実務を覚えることから始め、その後、クレーム対応、営業、企画と経験を積んでいきました。2015年前後には経営企画の業務に携わるようになり、2018年に社長就任の運びとなりました。就任する3年前ぐらいからは現在と同じような業務でしたので、就任したから何かが変わったわけではなく、特に意識することはありませんでした。その時は、いつ就任するかも決まっていなかったため、当時の社長(5代目)から「そろそろなるか?」と言われただけだった気がします。

自分の考えを「わかる言葉で明文化」

社長になり、大きく変わったことは、朝礼や定例会議、役員会など、トップとしての発言や社員に向けて話す機会が増えたこと。また、社内報にも原稿を書いているため、書籍や新聞などに目を通したり、取引先との話の中から引用したり、テーマに合わせて話ができるように、意識的な情報収集を心がけています。相手が興味を持てるような、身近なテーマを選ぶとともに、話し方・書き方も工夫しています。

また、4年前に策定した5か年の経営計画書についても、さまざまな資料・書籍を読み込んだ上で、会社の事業戦略や目標、経営理念などを明記しましたが、明文化するためには、インプットしたものを咀嚼し、整理する必要があるため、半年かけてやっと十数ページにアウトプットできました。150人の社員に対して、自分の言葉で伝える重要性を痛感するとともに、それが社長として重要な役割であることを再確認しています。

「今ある物をできるだけ長く」使えるように

わが社では、「地球環境改善集団」とのスローガンの下、SDGs対応も含めた環境対策を積極的に進めています。特にSDGsについては社内に委員会を設置し、17項目の取り組み方法について検討し、定期的な

報告を実施しています。端材のリサイクルや省力化に向けた設備機器の開発に加え、寄付をするにもウォータージェットの現場数に合わせて寄付するなど、それぞれの行動に意味を持たせ、個々に落とし込むことで、継続性を持たせています。

私自身の環境への考え方もありますが、事業の目的、会社が何のために存在するのかを掘り下げて考えた結果、今ある物をできるだけ長く使う。それが地球環境を守ることにもつながり、そのために技術を磨き、開発した製品の特許を取っていることにつながります。これは、会社の経営理念として、またトップメッセージとしても示し、社員とも共有する考え方で、技術・製品の開発、スキル向上が最終目的ではありません。会社としても、社員としてもここがずれないよう、価値観を合わせていくことが大切だと考えています。

人材採用は最重要課題

その価値観を合わせるために、最も重視しているのが人材採用です。少子高齢化に伴う人手不足を背景に、新卒者だけでなく、中途採用や外国人労働者についても競争が激化する一方で、働き方の多様化や短期間での離職への対応など、人材確保に関する課題は山積しています。

わが社では、専門家のアドバイスを受けて採用活動の内容を見直し、2～3年前から採用活動シーズンには月の4分の1に当たる日数を使い、新卒予定者に向けた会社説明会(事業説明やウォータージェットの体験など)を開催しています。説明会で私は、質疑応答を含めて1時間半かけて、会社の存在意義や価値観、そして代表としての考え方を伝えています。

人それぞれ考え方がありますので、会社の価値観に共感した上で入社してほしいと思って取り組んでいます。時間と労力はかかりますが、入社後のギャップを埋めるためには必要なことだと位置づけています。

現在の採用方法に変更した結果、同プログラムを経た新卒採用者は、現在も全員定着しています。また、即戦力として中途採用も行いますが、社内検定制度で段階的に評価するようにしています。

今は会社・社員が最優先事項

経営について、対応すべき課題は多いですが、苦労と思わずに『どうしたら解決できるか』を考えるようにしています。どんな仕事でも、どんな人にも苦労はつきものです。試行錯誤をいとわない姿勢が、私のス

タイルです。

趣味のアルペンスキーはもっぱらテレビ観戦となり、好きな読書も、おのずと経営や仕事に関連する書籍を手にとることが多くなりましたが、それでいいと思っています。社長になってみて、父親から言われた「経営者は24時間365日仕事だ」の意味が、納得できるようになりました。お客様と同じように、会社、社員を最優先に考えており、150人いる社員にいい暮らしをしてもらいたい、入社してよかったと思ってもらうためにも、社員の給与を上げるために技術を磨き、付加価値を高める。そして事業を成長させることが私の役割です。

常に会社について考えるため、時間の使い方が非常に重要です。このため、手帳に1時間ごとのタイムスケジュールを細かく書き込んでいます。しっかりとスケジュールリングしないと回せなくなってしまいます。これは社長になってから特に意識するようになりました。

試行錯誤できる余地がある業界

私が感じている排水管清掃業の魅力は、排水管の構造・形状によって洗浄方法が多種多様にあり、それを試行錯誤する過程です。建物の種類や使用する清掃機器類、技術力によっても違いがあり、どのように洗浄していくか、知恵を出し合いながら考えることができる業種だと思います。新規工法が開発できたときには、会社の財産として特許を取得し、その技術を社員で共有するようにもしています。さらに、実際の現場でその洗浄方法がうまくいき、お客様から感謝の言葉をいただけると、この仕事をしていてよかったと実感します。

まだまだやるべきことは多い中で、やはり将来は海外でも事業展開したいと考えています。海外でも管が詰まって苦労しているという話はよく聞きますので、潜在ニーズはあると思っています。管洗浄に限らず、ウォータージェットを使った事業は多岐にわたるので、さまざまな可能性を検討していきたいと思っています。



Mストック総数は約704万戸

国土交通省が公表した分譲マンションストック数の推移によると、2023年末現在における分譲マンションストック総数は約704.3万戸、築40年以上の総戸数は約136.9万戸と推計されました。

これらの結果から、築40年以上のマンションストック数は10年後の33年末には、23年比約2倍の274.3万戸、20年後の43年末には同3.4倍の463.8万戸まで増加すると見込んでいます。

また、2023年度末(今年3月末)時点のマンション管理業者の登録数は全国合計1,804社で、前年度比39社減少(同2.1%減)となり、2012年度から12年連続で減少しました。

污水处理人口普及率93.3%

農林水産省と国土交通省、環境省が公表した、2023年度末の「全国の污水处理人口普及状況調査」によると、污水处理人口普及率は93.3%となり、前回調査比で0.4ポイント増加しました。

各処理施設別にみると、「下水道」が1億128万人で、総人口に対する普及率は81.4%、「合併処理浄化槽」が1,177万人・同9.5%、「農業集落排水施設等」が294万人・同2.4%、「コミュニティ・プラント等」が15万人・同0.1%でした。都道府県別普及率トップは東京都(99.9%)、最下位は和歌山県(70.7%)となりました。

外国人労働者数が200万人超に

法務省によると、2023年度末の外国人労働者数は前年比12.4%増の204万8,675人となり、初めて200万人を突破しました。このうち、「特定技能」(専門的・技術的分野の在留資格の一部)は前年比75.2%増の13万8,518人、「技能実習」は同20.2%増の41万2,501人となりました。外国人労働者数全体に占める割合は、「特定技能」が6.8%、「技能実習」は20.1%です。

2023年度に新たに入国した外国人労働者は、「特定技能」は前年度比113.7%増の4万3,626人(特定技能1号のみ)、「技能実習」は同2.2%増の18万3,030人でした。「特定技能2号」の在留資格については、2022年4月に初めて許可されるようになり、2024年6月末現在で153人となっています(「特定技能」全体は25万1,747人)。

「技能実習制度」については、2024年6月14日、同制度に代わる「育成就労制度」創設を軸とする技能実習適正化法と入管難民法の改正法が国会で可決・成立し、2027年までに施行される予定です。今後は、人手不足解消のための外国人材の確保という実態に即した制度に代わります。

管理受託棟数が1.2%増

(一社)マンション管理業協会がまとめた2024年「マンション管理受託動向調査」結果によると、同年4月1



お問合せ：東京 TEL 03-3459-0051
大阪 TEL 06-6375-1421

<http://www.nihonjouka.co.jp>
E-mail: eigy@nihonjouka.co.jp



衛生的な快適環境を求めて 建築物の維持・管理を化学の力でサポート！

排水管洗浄剤

ジョーカルシリーズ

厨房・浴室・洗面等、排水管のつまりや臭気を解決する強力化学洗浄剤。



循環浴槽・給水給湯配管洗浄剤

ラストフラッシュ ハイチーム CA(分解剤)

柔らかいスケールや鉄さび、有機物、レジオネラ属菌等の除去に特化した強力化学洗浄剤。



尿石除去剤

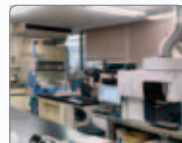
ストールシリーズ

小便器及び污水管に付着している尿石スケールを溶解・抑制する強力化学洗浄剤。



水質分析サービス

飲料水分析 工業水分析
レジオネラ属菌分析 環境計量分析
安心と安全のために正確な解析結果をお約束します。



■化学洗浄剤の総合メーカー ■水質分析・調査
日本漚化化学株式会社

本 社：
〒105-0001 東京都港区虎ノ門 3-2-2 30森ビル
TEL.03(3459)0051 代 FAX03(3459)0081

大阪支社：TEL 06-6375-1421
品川工場：TEL 03-3493-4431
テクノカルセンター：TEL.03-3798-0091

日時点における当協会会員(348社)が受託しているマン
ションは、10万5,105組合・12万4,245棟・655万

1,427戸となりました。前年実績と比較すると、組合
数・棟数ともに1.2%増加、戸数は1.5%増加しました。

高い挿入性・洗浄力を実現する「オンラップNEO洗浄®」

中部トータルサービス

(株)中部トータルサービスは、挿入性と洗浄力を高めた
排水管清掃方法「オンラップNEO洗浄®」を開発し、新
規事業として本格展開を開始しました。

同工法は、高圧ホースの先端部に進行方向をサポート
するガイドノズルを採用し、驚異的な挿入性を実現。回
転する噴射口と組み合わせた独自設計の形状となってお



り垂直方向への回転水流に
よって、高い推進力に加え、
管内を均一に洗浄すること
ができます。

また、ラミネートメッシュ

ホースを採用したことで、摩擦抵抗が少
なく、曲がり多くても挿入が容易に
なった上、高圧(15Mpa)での共用立て管
の清掃も可能です。オプションの温水洗
浄を併用すれば、排水管内の油汚れや冬
期・寒冷地作業における清掃性を高めることもできます。

新たなノズル構造とホース素材の採用で、挿入性・洗
浄力を高めるとともに、作業者の経験が浅かったり、作
業に不慣れだったりしても、確実かつ安定した清掃を実
現。確実な清掃によって、排水管の詰まりによる逆流事
故の防止にもつながります。



2024年度建築物排水管清掃作業従事者研修(開催決定分)

開催日	会場	募集人員
12月11日(水)	(福 岡) 福岡生活衛生食品会館 (福岡県福岡市博多区千代1-2-4)	70名
2025年2月6日(木)	(大阪②) 大阪ビルメンテナンス協会研修室 (大阪府大阪市西区江戸堀2-6-33 江戸堀フコク生命ビル8階)	50名
2月28日(金)	(神奈川) かながわ労働プラザ (神奈川県横浜市中区寿町1-4)	50名

2024年度建築物排水管清掃技工士資格講習(開催決定分)

開催日	会場	募集人員
2025年1月16・17日(木・金)	(愛 知)	ポリテクセンター中部 (愛知県小牧市下末1636-2)
		20名

RIDGID

FlexShaft®

AC電源不要!

手軽に持ち運べてパワフルに清掃

※ご使用には充電式ドリルドライバが必要です。

ケーブル先端のチェーンが広がり
管内壁まで効率よく清掃可能

K9-102+ K9-12 K9-204+

製品に関するお問い合わせ

日本エマソン株式会社 プロフェッショナルツール事業部

〒105-0023 東京都港区芝浦1-2-1 シーバンスN館17階 TEL: 03-4572-6881 FAX: 03-4496-4286 Mail: RIDGID-CS@emerson.com

2024年度建築物排水管清掃作業 従事者研修 [大阪・岡山会場]

受講者 35人

2024年9月26日

大阪会場：大阪ビルメンテナンス
協会研修室（大阪府大阪市）

受講者 36人

2024年10月16日

岡山会場：岡山国際交流センター
（岡山県岡山市）

1. 建築物衛生法と関係法令および排水管清掃作業の安全と衛生
2. 排水設備概論
3. 点検診断・検査

大阪

大中 武弘講師
（一社・全国管
洗浄協会
技術委員）



岡山

平田 敦彦講師
（一社・全国管
洗浄協会）



4. 排水設備の清掃実務および清掃機器の使用方法
5. 業務管理一般論

大阪

長谷 大講師
（一社・全国管
洗浄協会）



岡山

守谷 真吾講師
（一社・全国管
洗浄協会）



会員紹介

パイプ技研工業株式会社

当社は、北海道札幌市で排水管清掃や貯水槽清掃、配管洗浄、水質検査、オイル関連業務を手掛けています。1973年9月に設立し、満50年を越える会社になりました。

①北海道で一番の技術力、②お客様に対して親切・丁寧な接客対応、③社会情勢に対応できる知識と情報共有できる会社を理念に掲げ、倒産しない堅実な会社、社員全員が協力し合える会社を目指しています。

設立当初は、従業員が18人でしたが、現在では50人にまで成長しました。これも、あらゆる事業分野に進出し、社員全員で協力しながら業績を伸ばしてきた結果だと考えています。これからも社員一丸となって、業界のトップランナーを目指して日々努力と精進を重ねていきたいと思っています。

【パイプ技研工業(株)】代表者：船橋吾一（趣味：マラソン）

▶〒007-0826 北海道札幌市東区東雁来6条2-1-43

▶TEL：011-787-0003

URL: <https://www.pipe-g.co.jp>

▶創業1973年9月／従業員50人（男性46人、女性4人）

会員だより

◇新入会員
（敬称略）

【九州支部】

(株)TRUST-K [2024年11月入会]

代表者＝小林将大(代表取締役)

住所＝〒823-0012 福岡県宮崎市長井鶴283

TEL 0949-28-8201 FAX 0949-28-8202

紹介者(推薦者)＝(株)シンショー

◇事務所移転

【九州支部】

(株)山崎ビル環境サービス

〒880-0844 宮崎県宮崎市柳丸町32

(TEL、FAXは変更なし)

見ておくれやす

毎朝会社に来て、まず神棚に神・水・米・塩をお供えするお仕事から始まります▼水玉に水を入れ、お皿に米を零れ落ちないようにしながら盛り、塩も三角になるべく先端がきれいになるように盛り付け、左から水・米・塩と配置してお供えをしていきます▼後は神様にお参りになるのですが、ふと神の手入れをしている時に、新しい新芽とつぼみを発見しました。本来新芽や花が咲く時期は5〜7月らしいのですが、新しい何かを感じるような予感があるのと同時に、昨今の異常気象がこうさせているのだろうか、と考えさせられるものでした▼それにしても新しいものはなんでも嬉しいもので、会社には何か良い影響があるのではないだろうかと期待を胸に、会社に関わる全ての人が安全で、その家族も幸せに過ごせますように、と今日も神様に手を合わせました。

「ライノセラス総業(株) ライノセラスはサイ」

第46回

朝の日課

